

沿岸各地の水温

(6月16～20日)

日本海 15℃台 津軽海峡 11～13℃台
陸奥湾 11～15℃台 太平洋 11℃台

今回は青森を除く地点で昇温し、平均前回差は+0.6度となりました。

前年と比べると、日本海と陸奥湾でやや低め、太平洋側でやや高めとなり、平均前年差は-0.2度となりました。

平年と比べると、津軽海峡でやや低めで、平均前年差は-0.4度となっています。

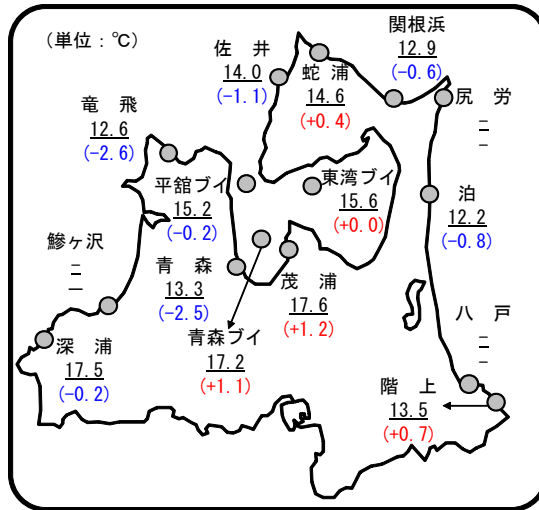


図 定地水温(6月16～20日)
平均値(前年差)±1m

地域	地点	水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	17.5	+0.5	-0.8	-0.2
	鱈ヶ沢	-	-	-	-
	平均	17.5	+0.5	-0.8	-0.2
津軽海峡	竜飛	12.6	+1.2	+0.1	-2.6
	佐井	14.0	+0.1	-0.2	-1.1
	蛇浦	14.6	+1.2	+1.0	+0.4
	関根浜	12.9	+0.4	+0.1	-0.6
陸奥湾	平均	13.5	+0.7	+0.3	-1.0
	青森	13.3	-0.2	-2.3	-2.5
	茂浦	17.6	+0.4	+0.4	+1.2
	平館	15.2	+0.8	-0.7	-0.2
	青森	17.2	+0.9	+0.1	+1.1
太平洋	東湾	15.6	+0.7	-1.5	0.0
	平均	15.8	+0.5	-0.8	-0.1
	尻労	-	-	-	-
	泊	12.2	+0.1	-0.2	-0.8
	八戸	-	-	-	-
全体平均	階上	13.5	+1.4	+1.7	+0.7
	平均	12.9	+0.8	+0.8	-0.1
	全体平均	14.7	+0.6	-0.2	-0.4

※平成21年4月から鱈ヶ沢の観測位置が変わりました。
※平均の前年差・平年差には鱈ヶ沢は含まれません。
※深浦は6月16日まで

太平洋の海況 (6月19日～20日)

概況: 沿岸水温は13～14℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

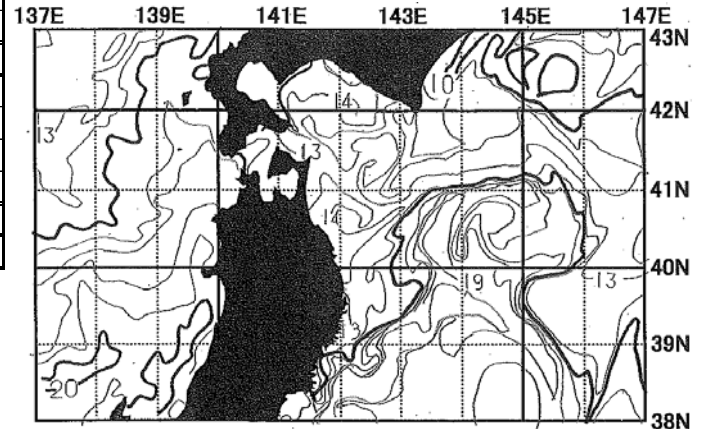
前回と比べて2度ほど昇温しています。前年同期と比較すると1～2度高い水温となっています。

日本海の場合 (6月19日～20日)

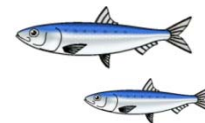
概況: 沿岸水温は17～18℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて3～4度昇温しています。これは前年同期と同程度の水温です。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第23号 6月21日発行 表面水温分布図



○マイワシ太平洋系群2010年生まれは卓越年級群

独立行政法人水産総合研究センターは6月6日、マイワシの太平洋系群について以下のような情報を出しました。

日本周辺のマイワシは、1980年代には年間400万トン以上漁獲されたこともありましたが、その後、資源量が激減し、近年は数万トンの漁獲量で推移しています。

このうち、主となる太平洋系群も、1980年代は広く太平洋側で漁獲されていましたが、1990年代後半以降極めて低い資源水準で推移しており、回遊域も縮小し、最近の漁場は常磐以南にほぼ限られていました。

水産総合研究センターは、マイワシに関し、毎年継続して秋季沖合域の資源評価調査を実施しています。昨年秋に得られた0歳魚の分布状況から、2010年生まれのマイワシはたくさん生き残っており、これは近年では卓越している数であることがわかりました。

1980年代に比べれば依然としてマイワシ資源は低水準ですが、この0歳魚が1歳魚となる今夏以降には、好漁となることが予測され、三陸漁場へ来遊する可能性も高いと考えられます。

○試験船情報

試験船開運丸は6月23日から7月30日までの予定で、太平洋のあかいか資源調査を行います。調査海域ははるか東経175度30分までとなっています。

○太平洋側のマダイが好漁

太平洋側の定置網によるマダイ漁獲量は、今年1月から6月中旬までの累計で約8.3トンとなっています。昨年、一昨年の同時期の漁獲量が76キロ、22キロだったのと比べると格段に多くなっています。今年獲れはじめたのは5月中旬からで、6月上旬は約2.1トン、中旬は約5.3トンの漁獲がみられました。